

(c) 清美社

長岡の花火 貼絵 / 1950年



時代を歩いた放浪画家の生涯

山下清 展

2007.4.21(土)

~5.27(日)

「日本のゴッホ」と称され、多くの人に親しまれた「放浪画家」山下清。

彼は、1922年(大正11年)、東京浅草に生まれ、3歳の時、重い病の後遺症ため、軽い言語障害・知覚障害となります。12歳、千葉県「八幡学園」に入園。そこで彼は「ちぎり絵」と出会い、秘めていた画才を発揮させます。そして、18歳のころ突然、リュックひとつで旅をはじめ、行く先々で出会った風景を記憶に留め、学園や実家に戻って貼絵に残し、また旅に出ます。

そんな放浪生活を通じて、彼が創り上げた数々の芸術、そして彼の人間像は今もなお、多くの人を魅了しています。

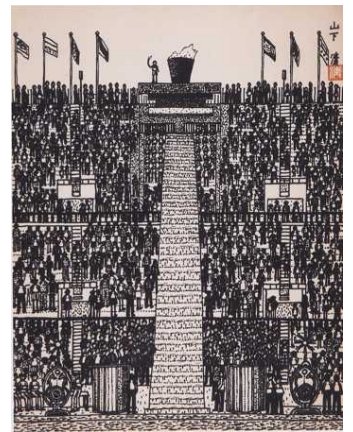
本展覧会では、代表的な貼絵作品を中心に、独特の手法で描かれた油彩・水彩・ペン画など約100点を展示し、「日本人の原風景」と賞賛される、郷愁に満ちた色鮮やかな山下清の世界を紹介します。

また、遺品や放浪日記、生前の映像なども紹介し、大正に生まれ、昭和の戦前・戦後、そして高度成長期という激動の時代にもかかわらず、「自然体」で生き、多くの人に感動を与えた山下清の生涯をたどります。

21世紀、私たちが、忘れかけている純粋で素朴なぬくもりを感じていただければと願います。



ともだち 貼絵 / 1938年



東京オリンピック ペン画 / 1964年



放浪時代に使用したリュックサック

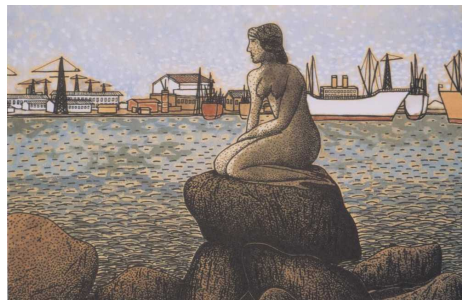
講演会「家族が語る山下清」
 と き：4月21日(土)
 午後1時30分から
 ところ：美術館2階研修室
 講 師：山下 浩氏
 (山下清作品管理事務局)

ワークショップ
 はり絵でつくろう
 とびだせ! 恐竜絵本づくり
 と き：4月29日(日)・30日(祝)
 午後1時30分から
 ところ：美術館2階研修室
 講 師：村上 祐喜子氏
 対 象：小学生
 要電話予約。定員20名。

ミュージアムコンサート
 「清と旅する音楽の午後」
 と き：5月6日(日)
 午後1時30分から
 ところ：美術館
 出 演：歌・ピアノ 梅谷 浩子氏
 ピアノ 河口 結子氏



スイスの町 貼絵 / 1963年



コペンハーゲンの人魚像 水彩画 / 1961年

開館時間 午前10時から午後5時(入館は午後4時30分まで)
 休館日 月曜日(月曜日が祝日の場合は翌日) 但し5月1日(火)は開館
 入館料 大人500円、大・高校生300円、小・中学生200円
 (ココロンカード利用可、20名以上団体割引)

丹波市立 植野記念美術館

丹波市氷上町西中615-4 TEL0795-82-5945